管理者・先生向け

更新日：2021年5月25日

schoolTakt

情報モラルの守り方 ～パスワード設定・管理～

インターネットやICTツールの普及により、生徒・先生においては情報モラルの習得が一層大事になっています。
これは、教育ICTツールであるスクールタクトの利用においても例外ではありません。
本資料では、スクールタクトにおける情報モラル、主にパスワード等の設定管理についてを解説しています。
こちらの資料を参考に、学校内での意識向上・ルール策定等をよろしくお願いいたします。

先生・生徒の情報モラル向上が不可欠

情報モラルとは「情報社会を生きるために必要な態度や考え方」のことを指します。
ICTツールは、自由なコミュニケーションの場を広げることで生徒同士の協働学習を促進させ、学習への興味・関心を高めることが期待できます。半面、自由な書き込みによるトラブルや、端末・パスワードの管理不足、なりすまし等のイタズラなど、ICTツールだからこそ起こりうるリスクがあることも事実です。

① 先生の机に貼ってあるパスワードをみて、生徒が無断でログイン。配布前の課題を勝手に編集したり、課題名などを変更してしまった。	② パスワード忘れを防ぐため生徒のパスワードを「クラス＋出席番号」で設定。結果、別の生徒IDでログインしてなりすまし、落書きをするなどのトラブルが発生した。	③ クラス全体が見られるチャット上で、誹謗中傷ともとれる発言が書き込まれた。本人に確認したところ、軽いイタズラのつもりだったとの回答。

上記のようなトラブルはそれぞれ、**①パスワード等の管理意識の向上 ②適切なパスワード設定 ③生徒の情報モラルの向上** をすることで、発生リスクを事前に下げることが可能です。
先生・生徒全員での管理意識・情報モラルの向上が、GIGAスクール下での安心安全なICT利用につながります。

スクールタクトでは、情報モラル教育に役立つ課題テンプレートも準備をしております。
導入指導の時間等を活用し、定期的な先生・生徒の意識向上にお役立て下さい。

■ 情報モラル教育に役立つ課題テンプレートのご紹介

【テンプレートを閲覧・確認する】

① 先生メニューから［課題テンプレート］をクリック
②「全て」が選択された状態で、フリーワード［情報モラル］で検索

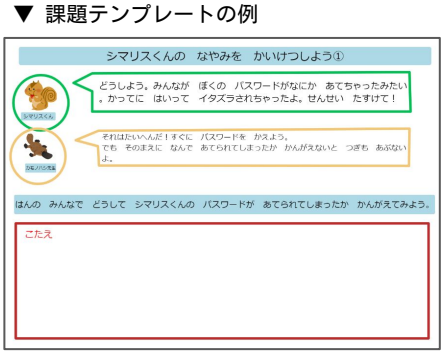
各課題の［詳細］をクリックすると説明などが確認できます。

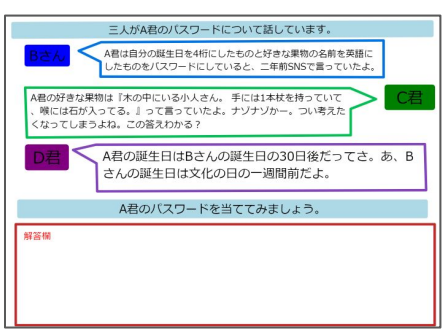
【テンプレートを使って課題を作成する】

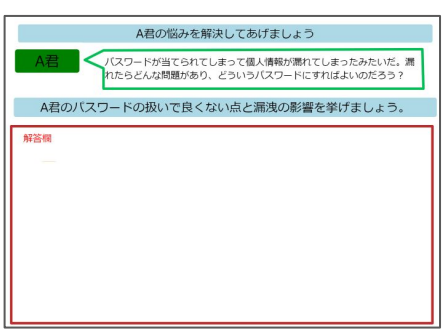
① 該当の授業内で［新規課題を作成］をクリック
② プルダウンを［全学年］［全科目］［全て］に設定、フリーワード［情報モラル］で検索
③ 使用したい課題テンプレートを選択し、［このテンプレートで作成する］をクリック

必要に応じて課題内容を修正し、配布します。

▼ 課題テンプレートの例







パスワードは容易に推測されないものに

生徒のパスワード忘れ等を防ぐため、管理・把握しやすいパスワードを設定されているケースがあります。その場合、**他の生徒のパスワードを容易に特定することが可能**となり、なりすましでの操作・書き込み等のトラブルを招く可能性が高くなり大変危険です。

自分のパスワードは、メニュー内「マイアカウント設定」から変更することができます。本人が分からなくなってしまった場合にも、生徒のパスワードは先生（個別）や管理者（個別/一括）から、先生のパスワードは管理者から、それぞれ変更が可能です。

ヘルプページ「自分のパスワードの変更」▸
https://help.schooltakt.com/ja/articles/1501533

× 悪い例
- 他者が推測しやすい組み合わせ
  例）ログインIDと同じ／クラス＋出席番号／生年月日　等
- 初期設定のままや簡単な文字列
  例）「s001」「1234」「abcd」「password」　等
- 学年やクラスで共通のパスワード

アルファベットと数字を組み合わせる、意味のある文字列を避けるなど、推測されにくいパスワードを設定しましょう。可能な限り文字数は多く（推奨6文字以上）、アルファベットは大文字小文字を混在させるとより安全です。

パスワード・端末の管理方法に注意

推測されにくいパスワードに設定・変更しても、共有方法や管理方法によっては **パスワードそのものが本人以外に流出**してしまう可能性があります。また、本人不在時の端末からなりすまして操作されるケースもあります。使用時以外は鍵の掛かるロッカーで保管する、使用後は必ずログアウトをするよう指導するなど、**端末自体の管理**にも十分な対策が必要です。

また、パスワード一括変更後に生徒に連絡をする際にも、変更後のパスワードが本人以外に知られないよう注意が必要です。

× 悪い例
- パスワードを書いた紙を生徒の机に貼る
- パスワードと端末を一緒に保管する
- 変更したパスワードを全員分リストで渡す

パスワードは端末と分けて他人の目に触れにくいところで管理し、端末は鍵の掛かる場所に保管するなど不特定の人が操作できないようにしましょう。

先生のパスワード・端末の取扱いにも落とし穴

パスワードの流出、なりすましのリスクは生徒同士だけではありません。先生アカウントになりすますことで、評価や過去の学習ログなど見られてはいけない情報が見られてしまうリスクもあります。

見落としやすいリスク事例は「**端末から離れる際のロック忘れ**」です。タブレットやノートPCの場合にはカバーや画面を閉じることで端末ロックがかかる設定がおすすめです。自動画面ロックまでの時間も極力短め（2分など）に設定し、オフ設定は避けましょう。
また、盗難や落下事故等のリスクもあるため、**教室に端末を置いたままその場を離れない**ことが大切です。

× 悪い例
- パスワードが他人の目に触れやすい状態
  例）パスワードを付箋に書いて端末に貼っている
  　　パスワードが書かれたカードを首から下げる　等
- 自動画面ロックがオフ／長い時間に設定
- 教室に端末を置いたまま席を離れる

生徒は想像以上に先生の行動を細かく見ています。少しの離席や職員室の中でも気を抜かず、予期せぬトラブルを招かぬよう継続して注意が必要です。

【管理者向け】パスワードの一括変更方法

なりすまし等のトラブルが発生した場合、こちらの方法で先生・生徒のパスワードを一括変更することができます。
※生徒のパスワードは、個別であれば先生からも変更をすることが可能です。

① 管理者メニューから［全アカウント］をクリック
② 「全アカウント」ページ右上 緑の＋マークをクリックし
　［生徒・先生の一括登録］を選択
③ ［編集用CSVをダウンロード（生徒 / 先生）］からCSVをダウンロード
④ ダウンロードしたCSVに新しいパスワードを入力し保存
⑤ ページに戻り［CSVをアップロード］からファイルをアップロード
　※データに間違いがあると、該当の行番号と内容が表示されます。
　　CSV上で修正し再度アップロードしてください。
⑥ アップロードされたら［次へ］をクリック

「登録が完了しました」と表示され、アカウント一覧画面に戻ります。

ヘルプページ「アカウントの一括更新」▲
https://help.schooltakt.com/ja/articles/1766513

schoolTakt

更新日：2021年5月25日

パスワード設定・管理　チェックシート

	／		／		／	
	本人	管理者	本人	管理者	本人	管理者
パスワードの設定						
初期パスワードからパスワードを変更している						
ログインIDとパスワードは別の文字列を設定している						
パスワードに担当学年・担当クラス等を使用していない						
パスワードを氏名等の推測されやすいものにしていない						
パスワードは6文字以上・英数字を組み合わせたものにしている						
パスワードの管理						
ログインID・パスワードを書いたメモや付箋を 他人の目に触れる場所に貼っていない（机・端末など）						
パスワードの控えは鍵の掛かる引き出しの中などにしまっている						
他の先生や生徒にログインID・パスワードを教えていない						
前任者や他の先生などと同じパスワードを使用していない						
万が一パスワードを忘れた際の対応方法を知っている						
端末の管理						
端末に自動画面ロックを設定している（推奨：2分以内）						
離席の際は端末画面を閉じる（ロックする）ようにしている						
他の先生や生徒に端末を貸し出す際は、必ずログアウトをしている						
教室を離れる際、端末を置いたままにしていない						
（共有端末の場合）使用後は必ず毎回ログアウトをしている						
（ノートPC・タブレット端末などの場合） 離席時・帰宅時は学校規定の場所や鍵の掛かる場所で保管している						
生徒への指導・啓蒙活動　その他						
生徒へ情報モラルの大切さを指導している						
生徒のパスワード・端末の管理状況を定期的にチェックしている						
生徒のパスワードを変更する方法を知っている						
万が一トラブルがあった際には然るべき報告をしている						
サイン						